

日本心臓血管放射線研究会学術奨励賞
学会報告記

氏名 常田 慧徳
所属機関名(発表時) 北海道大学病院
発表学会名 ASCI2019 (展示発表)
学会開催年月日 2019年03月21日～23日
演題名 Impact of the novel 4-dimensional similarity filter on dynamic myocardial perfusion CT
優秀論文賞受賞 無
学会報告記(800字程度・写真1枚)

◇本文

2019年3月21日～23日に台北 Howard Civil Service International House で開催された ASCI2019 (The 13th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging)に参加させていただきましたので、御報告いたします。会期中の台北は3月という比較的過ごしやすい時期にもかかわらず、気温が33℃まで上昇しており、まだ雪の残る北海道から参加した私は汗を拭きつつ会場へ向かいました。

私の発表は初日夕方の「Fast Poster Presentation and Group Discussion 2」というセッション内での発表で、6分間のプレゼンテーションの後に質疑応答のある形式でした。私にとって初めての国際学会発表でとても緊張していましたが、小さな部屋で比較的和やかな雰囲気で行われ、私のつたない英語でもなんとか無事終了することができました。また、座長の先生の興味を引いたようで、いろいろと質問してくれたのが今後の励みになりました。今後、論文文化に向けてさらにブラッシュアップさせていきたいと考えています。

最近、放射線科領域ではAIが流行しており、ASCI2019でも「Update lecture 1: AI in cardiovascular imaging」というセッションでAI関連の講演がいくつかなされていました。AIを利用したカルシウムスコア解析やCT-FFR解析といった診断に関わる領域から、AIを利用したMRIの高速撮像・画質向上技術まで幅広い話題が取り上げられており、興味をそそる内容でした。

学会の合間には、指導医の先生や同じ北海道から参加した技師さんと台北近郊の九份に出かけ、千と千尋の神隠しのモデルになったという建物を見たり、本場台湾の烏龍茶を楽しんだりして、勉強という面でもリフレッシュという面でも充実した時間を過ごすことができました。

今回の学会で得た経験を今後の研究活動に活かし、さらなる研鑽に努めてまいります。最後になりますが、本学会への参加にあたり、学術研究助成を賜りました日本心臓血管放射線研究会の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。

